

- 環境保全を重視した農業を推進していく中で、有機・特別栽培やカバークロープや堆肥の施用、有機農業、IPMの営農活動に取り組む農業者を支援し、**有機・特別栽培は112haで実施**。
- 管内では、実需者の要求に対応できるGAPへの取組みはまだ少ない中、販路拡大のために国際水準GAP実践等への取組みを支援した結果、**1経営体でJGAP認証**

具体的な成果

1. 有機・特別栽培面積

- 環境直接支払取組面積 **101ha**
- 有機・特別栽培実面積 **112ha**
- エコファーマー認定

新規1名 更新4名

- JAS有機取得 **1法人**

有機JASマーク



2. 国際水準GAP取得レベルの集団育成

- JGAP認証取得 **1法人**



工場審査の様子

普及指導員の活動

- 環境保全型農業直接支払交付金の事業要件である国際水準GAP実践や土壌の研修会等事業取組に対する支援を実施。
- エコファーマー申請者に対し土壌分析後、施肥指導と申請支援を実施。
- JAS有機の認証取得支援を実施

- 1経営体に対し、JGAP認証取得に向けて、JGAPの管理点と適合基準の確認及び圃場、荒茶工場、倉庫等の現地確認、作業工程のリスク評価の実施、圃場地図や作業様式の作成、審査実施に向けての支援を実施。

普及指導員だからできたこと

・有機農業や特別栽培、環境保全型農業に精通した普及指導員だからこそ、有機・特別栽培者を支援することが可能。

・国際水準GAPについての知識・情報や専門技術をもった普及指導員のチームでの支援が継続的に可能だから、JGAPの認証が可能となった。